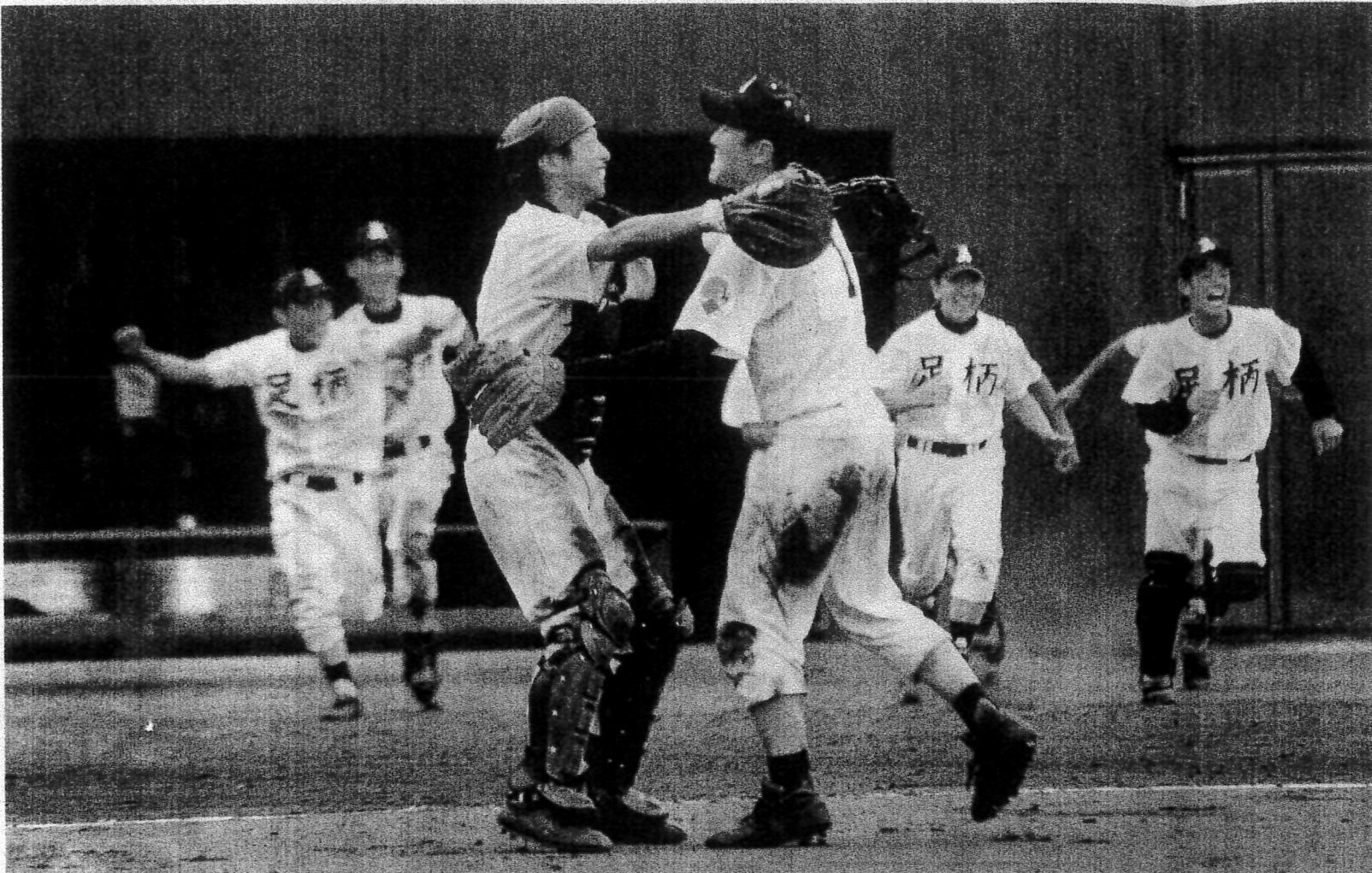


【足柄一横浜商】1点差を守りきり、抱き合って喜ぶ足柄の杉本①と平木のバッテリー=保土ヶ谷球場



苦しい場面でも笑顔  
うたへが戻へ 沐た日前 しド柄

明

最後の打者を左飛に打たれて、足柄の右腕杉本は会心の笑み。第3シード撃破の好ゲームで大きな仕事を果たした。

強豪相手の投球を楽しんだ。「この前（1回戦）は力で勝負した。でも今日は、力で押したら打たれると思った」。丁寧にコースを突き、9安打を浴びながらも要所を締めた。

六回には「前から言われていた。完投できないと思われているから」といったんレフトへ。しかし七回途中、再びマウンドに戻った。三回に死球を受けた右腕に「力が入らなかつた」という中で、エースへの信頼の証だ。

苦しい場面でも、常に笑みを浮かべた。「自分が暗くなつたら、どうしようもないですから」。4番打者で、エースで主将の大黒柱。帽子のひさしの裏には、大きく「笑顔」と書いてあ

# 初回からちぐはぐさ

まさかの初戦敗退に試合後の横濱商のロッカールームは暗く湿った。1点を追つた最後の攻撃が、この日のY校を象徴していた。一死一塁から、石田が期待をつなぎ左越え二塁打。だが重圧を引き継いだ続く須栗の打球は、大きな弧を描いて左翼手のグラブに吸い込まれた。クリーンアップから始まつた攻撃は、この回だけで3個のレフトフライを計上して終わつた。

足柄	△三塁打	矢内△二塁打	山、大場、中井大、飛澤、杉
足4	(遠藤)	Y2(福井、間曾)	石、青木、浅岡、藝
島	△盗塁	Y0足1(平木)	
▽失策	Y2(杉山、渡邊)		
足1(杉本)	△暴投	三浦	
▽審判			
▽樺田			
小野	中村、笠間		

四死球と安定感がなかった。  
**序盤にリード**  
**厚木振り切る**

# 足柄満点

# 初戦敗退

## 絶妙スクイズ

全国高校野球選手権神奈川大会（県高野連、朝日新聞社主催）は17日、

10球場で2回戦22試合があつた。保土ヶ谷球場では、足柄が先制した2点を死守し、第3シードの横浜商を1点差で降した。横浜商は再三の好機をものにできず、古豪復活は来夏以降に持ち越された。平塚学園など他のシード校に波乱はなかつ

ス杉本直人君（3年）の右ひじの痛みは引かなかつた。コースを丹念に突く投球で競り勝つた17日の横浜商（Y校）戦。しかし、3回裏の打席で右ひじに死球を受けていた。その後も氣力で投球を続けたが、試合が終わり家に帰ると急に痛みが強まつた。18日、氣功の先生で

もある山本彰監督に一日中治療してもらつたが、19日になつてもひじは90度以上曲げることが出来ず、歯も左手で磨いた。

「気合で投げました  
が、制球が微妙に甘くな  
りました」。百合丘打線は  
見逃さなかつた。先発し  
3回を終えて降板するま  
でに、失策も絡んで5点  
を奪われ、7回コールド  
で敗れた。でも、精いつ  
ぱい投げた。試合後、部  
員と記念撮影した杉本君  
は笑顔だつた。（横浜）

# 第3シード 横浜商が姿消す

動かぬ右ひじ  
力投も実らず

足柄木板

もある山本範監督は一日中治療してもらつたが、19日になつてもひじは90度以上曲げることが出来ず、歯も左手で磨いた。